

ファンドラップ (ウエルス・スクエア) 債券・成長型

運用報告書(全体版)

第1期(決算日2017年3月29日)

作成対象期間(2016年10月20日～2017年3月29日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/債券
信託期間	2016年10月20日以降、無期限とします。
運用方針	主として、世界の債券(世界の高利回り社債や新興国の公社債、投資適格格付が付与されているもしくは同等の信用度を有すると判断される世界の公社債など)を実質的な投資対象とする投資信託証券に投資し、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目標に運用を行うことを基本とします。 投資する投資信託証券については、実質的な外貨建て資産については為替ヘッジを行うことを基本とするもの、もしくはこれらに類するものに限定することを基本とします。ただし、外貨建て投資信託証券に投資する場合は、当該投資信託証券に対して為替変動リスクを回避する目的で外国為替予約取引を用いる場合があります。 投資信託証券への投資にあたっては、株式会社ウエルス・スクエアによる各投資信託証券の期待リターンやリスク水準等の定量分析および投資環境等の定性判断等に基づく投資配分比率に関する助言をもとに各投資信託証券への配分比率を決定します。なお、組入投資信託証券については適宜見直しを行います。
主な投資対象	主として有価証券に投資する投資信託証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
主な投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配)	価 額			投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落 率		
(設定日) 2016年10月20日	円 10,000		円 -	% -	% -	百万円 1
1 期(2017年3月29日)	9,829		0	△1.7	98.9	163

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

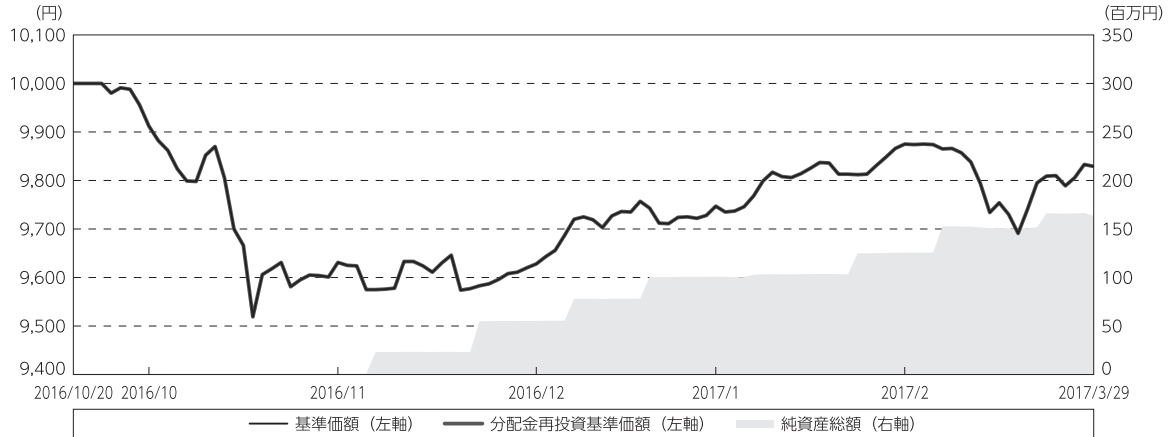
○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落 率	率	
(設定日) 2016年10月20日	円 10,000		% -	% -
10月末	9,912		△0.9	97.5
11月末	9,631		△3.7	97.4
12月末	9,628		△3.7	98.7
2017年1月末	9,747		△2.5	99.0
2月末	9,875		△1.3	99.0
(期 末) 2017年3月29日	9,829		△1.7	98.9

*騰落率は設定日比です。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期 末：9,829円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△ 1.7%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時10,000円から期末9,829円となりました。

（下落要因）

- ・新興国債券・インデックスF（適格機関投資家専用）が値下がりしたこと

○投資環境

<世界債券市場>

好調な米経済指標を受けてFRB（米連邦準備制度理事会）による2016年内の利上げ観測が高まったことや、11月にトランプ氏が米国大統領選挙で勝利し同氏の掲げる政策によりインフレ率上昇への警戒感が高まったことなどから、設定時より軟調に推移しました。その後も、原油価格の上昇などを背景に世界的に金利が上昇したことや、12月にFOMC（米連邦公開市場委員会）で利上げが決定され、更に2017年以降の利上げペースの加速が意識されたことなどから軟調に推移し、当作成期間では値下がりとなりました。

<高利回り債券市場>

トランプ氏が米国大統領選挙で勝利し、同政権による財政支出拡大からのインフレ加速や保護主義的な貿易政策による新興国経済への悪影響が懸念されたことなどから2016年11月中旬にかけてハイ・イールド債、エマージング・マーケット債は軟調に推移しました。その後は、OPEC（石油輸出国機構）が原油減産に合意したことを好感して原油価格が上昇したことや好調な米国経済を背景に堅調に推移し、当作成期間ではハイ・イールド債、エマージング・マーケット債は値上がりとなりました。

○当ファンドのポートフォリオ

世界の債券（世界の高利回り社債（ハイ・イールド債）や新興国の公社債（エマージング・マーケット債）、投資適格格付が付与されているもしくは同等の信用度を有すると判断される世界の公社債など）を実質的な投資対象とする投資信託証券を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目標に運用を行いました。

投資信託証券への投資にあたっては、株式会社ウエルス・スクエア（以下「ウエルス・スクエア」という）からの助言に基づき、定性評価・定量評価等を勘案して指定投資信託証券の選定および投資信託証券への投資配分比率の決定を行いました。

※なお、投資する投資信託証券については実質的な外貨建資産について、為替ヘッジを行うことを基本とするもの、もしくはこれらに類するものに限定することを基本とします。

・投資信託証券組入比率

投資方針に基づいて、当作成期を通じて高位の組入れを維持しました。

・指定投資信託証券の見直し

ウエルス・スクエアからの助言に基づき、当期において投資対象ファンドの見直しは行いませんでした。

・指定投資信託証券の組入れ比率推移

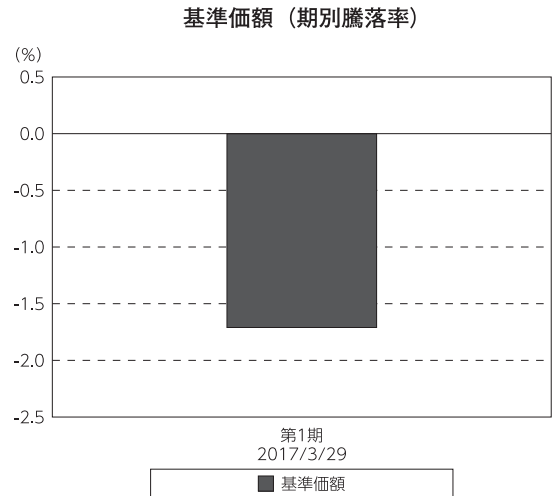
ファンド名	期首	11月末	12月末	1月末	2月末	期末
米国ハイ・イールド債券・インデックスF	58.9%	40.2%	49.3%	49.4%	49.2%	49.0%
新興国債券・インデックスF	38.6%	57.2%	49.5%	49.6%	49.8%	49.9%

※ファンドは平成28年10月20日の当初設定後、順次投資信託証券の組み入れを行いました。上図の期首の数値は、平成28年10月31日時点の投資比率です。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

収益分配金については、基準価額水準等を勘案して決定しました。

留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第1期
	2016年10月20日～ 2017年3月29日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	108

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

投資信託証券への投資にあたっては、ウエルス・スクエアからの助言に基づき、定性評価・定量評価等を勘案して指定投資信託証券の選定および投資信託証券への配分比率の決定を行います。

ウエルス・スクエアはポートフォリオの構築にあたり、投資信託証券の期待リターンやリスク水準等の定量分析および投資環境等の定性判断等に基づき、投資配分比率に関する助言を行います。

組入投資信託証券については適宜見直しを行います。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化について

店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行われており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響をうけ、当該金融取引を行うための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年10月20日～2017年3月29日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 14	% 0.143	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(10)	(0.105)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(2)	(0.024)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.014)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.001	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	14	0.144	
期中の平均基準価額は、9,758円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 * 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 * 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
 * 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2016年10月20日～2017年3月29日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	米国ハイ・イールド債券・インデックスF	8,062	82,120	196	1,986
	新興国債券・インデックスF	8,548	81,409	188	1,823
	合 計	16,610	163,529	384	3,809

* 金額は受け渡し代金。
 * 金額の単位未満は切り捨て。
 * 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○利害関係人との取引状況等

(2016年10月20日～2017年3月29日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 163	百万円 163	% 100.0	百万円 3	百万円 3	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2016年10月20日～2017年3月29日)

設定時残高 (元 本)	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 (元 本)	取 引 の 理 由
百万円 1	百万円 -	百万円 -	百万円 1	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2017年3月29日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	当 期 末		
		口 数	評 価 額	比 率
		口	千円	%
米国ハイ・イールド債券・インデックスF		7,866	80,099	49.0
新興国債券・インデックスF		8,360	81,585	49.9
合	計	16,226	161,684	98.9

*比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2017年3月29日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	161,684	97.1
コール・ローン等、その他	4,899	2.9
投資信託財産総額	166,583	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年3月29日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	166,583,063
コール・ローン等	1,787,039
投資信託受益証券(評価額)	161,684,718
未収入金	3,111,306
(B) 負債	3,089,917
未払解約金	2,993,856
未払信託報酬	95,431
未払利息	2
その他未払費用	628
(C) 純資産総額(A-B)	163,493,146
元本	166,330,716
次期繰越損益金	△ 2,837,570
(D) 受益権総口数	166,330,716口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,829円

(注) 期首元本額は1,000,000円、期中追加設定元本額は172,324,371円、期中一部解約元本額は6,993,655円、1口当たり純資産額は0.9829円です。

○損益の状況 (2016年10月20日～2017年3月29日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 1,436
支払利息	△ 1,436
(B) 有価証券売買損益	1,907,196
売買益	2,000,546
売買損	△ 93,350
(C) 信託報酬等	△ 96,059
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,809,701
(E) 追加信託差損益金	△4,647,271
(配当等相当額)	(△ 3,487)
(売買損益相当額)	(△4,643,784)
(F) 計(D+E)	△2,837,570
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△2,837,570
追加信託差損益金	△4,647,271
(配当等相当額)	(△ 3,487)
(売買損益相当額)	(△4,643,784)
分配準備積立金	1,811,137
繰越損益金	△ 1,436

* 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程 (2016年10月20日～2017年3月29日) は以下の通りです。

項 目	当 期
	2016年10月20日～ 2017年3月29日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	1,811,137円
c. 信託約款に定める収益調整金	0円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,811,137円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	108円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

<お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。

(2017年3月29日現在)

年 月	日
2017年3月	-
4月	13、14、17、28
5月	1、26、29
6月	-
7月	3、4
8月	25、28
9月	1、4
10月	-
11月	-
12月	22、25、26

※2017年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。